

宝塚は映画の都だった! 宝塚で作られた映画の大特集

◆宝塚は映画の都だった! 古くは戦前、1938年に開設された宝塚映画。戦後、1951年に「宝塚映画製作所」として再出発。しかし、スタジオの焼失という事態に遭うも、1956年4月、最新鋭の設備を誇る東洋一と謳われたモダンな撮影所がオープン。日本映画の全盛期、最新の設備をフル稼働し、時代劇からミュージカル、お得意の人情喜劇、文芸大作まで多種多様な映画を作り続け、日本映画の快進撃の一翼を担うなど、映画の黄金期を支え続けた。宝塚の街には、小津安二郎、黒澤明、成瀬巳喜男、木下恵介、谷口千吉、稲垣浩らの名監督から、森繁久彌、三船敏郎、嵐寛寿郎、加山雄三、淡島千景、新珠三千代、原節子、高峰秀子、乙羽信子、美空ひばり、江利チエミ、司葉子など伝説の映画スターの姿が見られ、街のあちこちで撮影が行なわれるなど、まさに宝塚

は「映画の都」だった! ◆26回目となる宝塚映画祭では、名匠小津安二郎監督が唯一宝塚で撮った「小早川家の秋」(1961)、岡本喜八監督の時代劇「大菩薩峠」(1966)など「宝塚映画製作所」で製作された6本の宝塚映画を上映します。記念トークでは、製作所の後継会社「宝塚映像」で製作されたTV映画にも言及します。戦後80年特集では、広島で被爆して亡くなった宝塚歌劇出身のスター、園井恵子さん出演の名作「無法松の一生」と、野坂昭如原作の名作アニメ「火垂るの墓」、このほか「文芸映画特集」、新作プレミア上映では白羽弥仁監督最新作「道草キッチン」、「スペシャル企画」では「エール・ザ・シネ・ピピア」として映画館にまつわる作品やリム・カーワイ監督、小田香監督を迎えてのトークショーなど、ゲストも多数来場。宝塚映画祭をお楽しみください。



「小早川家の秋」撮影スラン、小津安二郎監督、園井恵子さんと小津安二郎

第
26
回



宝塚映画祭

2025年11月21日(金)~27日(木)〈1週間〉シネ・ピピア

宝塚は映画の都だった!

タイムテーブル

●各回完全入替制
(1回ごとに別料金となります)

「懐かしの宝塚映画がスター展」期間中、シネ・ピピアロビーで開催!!

各回入替制	1	2	3	4	5	6
11/21(金)	10:00 お嬢ちゃんに任しとき!	11:50 ある大阪の女	13:40 無料(自由席) トーク 「宝塚映画・映像を語る」	15:10 大菩薩峠	17:30 暁の合唱	19:20 無法松の一生
22(土)	10:00 利休	12:35 土魂魔道 大龍巻	14:40 トークショー付き 無法松の一生	17:10 潮騒	18:50 火垂るの墓	—
23(日)	10:00 小早川家の秋	12:05 トークショー付き 火垂るの墓	14:20 利休	16:55 暁の合唱	18:45 お嬢ちゃんに任しとき!	—
24(月・祝)	10:00 潮騒	11:40 小早川家の秋	13:40 舞台あいさつ付き 道草キッチン	15:55 無法松の一生	17:55 ディス・マジック・モーメント	19:40 映画を愛する君へ
25(火)	10:00 ある大阪の女	11:50 利休	14:25 暁の合唱	16:15 土魂魔道 大龍巻	18:20 大菩薩峠	—
26(水)	10:00 火垂るの墓	11:45 潮騒	13:25 小早川家の秋	15:25 お嬢ちゃんに任しとき!	17:15 ある大阪の女	19:05 土魂魔道 大龍巻
27(木)	10:00 大菩薩峠	12:20 映画を愛する君へ	14:10 トークショー付き ディス・マジック・モーメント	16:30 トークショー付き 鉦 ARAGANE	18:25 のロッキング上 Underground	鉦 ARAGANE Underground は、音響アップ上映!!

宝塚映画名作選 戦後80年記念特集 文芸映画特集 新作プレミア上映 スペシャル企画

トークショー付き: ●11/21(金) 13:40「宝塚映画・映像を語る」ゲスト:河内厚郎さん(宝塚映画祭実行委員長)、岡崎洋子さん(元宝塚映画スクリプター)
◎この日のみ無料となります。自由席となりますが、その日の11:50「ある大阪の女」をご覧の方は、引き続き、その席でお待ちください。お気軽にご入場ください。

●11/22(土) 14:40「名作『無法松の一生』の奇譚な運命を語る」ゲスト:宮島正弘さん(撮影監督) ※「無法松の一生」上映後

●11/23(日) 12:05「野坂昭如と『火垂るの墓』」ゲスト:河内厚郎さん(宝塚映画祭実行委員長) ※「火垂るの墓」上映後

●11/27(木) 14:10「ディス・マジック・モーメント」トーク:リム・カーワイ監督 ※上映後

●11/27(木) 16:30「鉦 ARAGANE」トーク:小田香監督 ※上映後

●11/24(月・祝) 13:40「道草キッチン」舞台あいさつ:白羽弥仁監督 ※上映前



料金 1回券/一般:1,300円、シニア・学生:1,200円
宝塚市文化財団友の会・ピピアめふ会員:1,100円
ハンディキャップ割引:1,000円

3回券/3,000円(本人のみ使用可、映画祭期間中のみ販売)
※前売券の販売はありません。3回券のみ11/7(金)よりシネ・ピピア窓口のみで販売。

会場 震災復興ビル「ピピアめふ」5F
シネ・ピピア
www.cinepipia.com

主催 宝塚映画祭実行委員会 共催 宝塚市、公益財団法人宝塚市文化財団 後援 株式会社エフエム宝塚 協賛 国際ライフパートナー株式会社 協力 東宝、松竹、日活、KADOKAWA、新潮社、キョウタス、アンブラグド、cinema drifters、スリーピン、ユーロスペース、すみれ座、シネ・ピピア

阪急宝塚線「売布神社」駅前
宝塚市売布2-5-15F tel.0797-87-3565

映画祭公式ホームページ
www.takarazukaiegasai.com

主観 宝塚映画祭実行委員会 共催 宝塚市、公益財団法人宝塚市文化財団 後援 株式会社エフエム宝塚 協賛 国際ライフパートナー株式会社 協力 東宝、松竹、日活、KADOKAWA、新潮社、キョウタス、アンブラグド、cinema drifters、スリーピン、ユーロスペース、すみれ座、シネ・ピピア

主観 宝塚映画祭実行委員会 共催 宝塚市、公益財団法人宝塚市文化財団 後援 株式会社エフエム宝塚 協賛 国際ライフパートナー株式会社 協力 東宝、松竹、日活、KADOKAWA、新潮社、キョウタス、アンブラグド、cinema drifters、スリーピン、ユーロスペース、すみれ座、シネ・ピピア

主観 宝塚映画祭実行委員会 共催 宝塚市、公益財団法人宝塚市文化財団 後援 株式会社エフエム宝塚 協賛 国際ライフパートナー株式会社 協力 東宝、松竹、日活、KADOKAWA、新潮社、キョウタス、アンブラグド、cinema drifters、スリーピン、ユーロスペース、すみれ座、シネ・ピピア

主観 宝塚映画祭実行委員会 共催 宝塚市、公益財団法人宝塚市文化財団 後援 株式会社エフエム宝塚 協賛 国際ライフパートナー株式会社 協力 東宝、松竹、日活、KADOKAWA、新潮社、キョウタス、アンブラグド、cinema drifters、スリーピン、ユーロスペース、すみれ座、シネ・ピピア

主観 宝塚映画祭実行委員会 共催 宝塚市、公益財団法人宝塚市文化財団 後援 株式会社エフエム宝塚 協賛 国際ライフパートナー株式会社 協力 東宝、松竹、日活、KADOKAWA、新潮社、キョウタス、アンブラグド、cinema drifters、スリーピン、ユーロスペース、すみれ座、シネ・ピピア

主観 宝塚映画祭実行委員会 共催 宝塚市、公益財団法人宝塚市文化財団 後援 株式会社エフエム宝塚 協賛 国際ライフパートナー株式会社 協力 東宝、松竹、日活、KADOKAWA、新潮社、キョウタス、アンブラグド、cinema drifters、スリーピン、ユーロスペース、すみれ座、シネ・ピピア

主観 宝塚映画祭実行委員会 共催 宝塚市、公益財団法人宝塚市文化財団 後援 株式会社エフエム宝塚 協賛 国際ライフパートナー株式会社 協力 東宝、松竹、日活、KADOKAWA、新潮社、キョウタス、アンブラグド、cinema drifters、スリーピン、ユーロスペース、すみれ座、シネ・ピピア

主観 宝塚映画祭実行委員会 共催 宝塚市、公益財団法人宝塚市文化財団 後援 株式会社エフエム宝塚 協賛 国際ライフパートナー株式会社 協力 東宝、松竹、日活、KADOKAWA、新潮社、キョウタス、アンブラグド、cinema drifters、スリーピン、ユーロスペース、すみれ座、シネ・ピピア

主観 宝塚映画祭実行委員会 共催 宝塚市、公益財団法人宝塚市文化財団 後援 株式会社エフエム宝塚 協賛 国際ライフパートナー株式会社 協力 東宝、松竹、日活、KADOKAWA、新潮社、キョウタス、アンブラグド、cinema drifters、スリーピン、ユーロスペース、すみれ座、シネ・ピピア

主観 宝塚映画祭実行委員会 共催 宝塚市、公益財団法人宝塚市文化財団 後援 株式会社エフエム宝塚 協賛 国際ライフパートナー株式会社 協力 東宝、松竹、日活、KADOKAWA、新潮社、キョウタス、アンブラグド、cinema drifters、スリーピン、ユーロスペース、すみれ座、シネ・ピピア

主観 宝塚映画祭実行委員会 共催 宝塚市、公益財団法人宝塚市文化財団 後援 株式会社エフエム宝塚 協賛 国際ライフパートナー株式会社 協力 東宝、松竹、日活、KADOKAWA、新潮社、キョウタス、アンブラグド、cinema drifters、スリーピン、ユーロスペース、すみれ座、シネ・ピピア

★ご購入の1週間前からインターネット、劇場窓口で座席指定券をお求めいただけます。インターネットからのご購入は、右のQRコードからお求めいただけます。

★ご購入の3回券は、予めご購入の日の座席指定券とお引き換えください。劇場窓口でのみ1週間前から座席指定券とお引き換えできます。インターネットからは3回券・招待券はお引き換えできませんので、ご注意ください。

★招待券も、予めご購入の日の座席指定券と必ずお引き換えください。

★満席の際はご入場できません。予め座席指定券をお早めにお求めください。3回券をお持ちでも満席の際はご入場できませんので、ご注意ください(払い戻しはありません)。

交通アクセス
●阪急宝塚線「売布神社」駅前
阪急「宝塚駅」より急行が普通で約5分
阪急「梅田駅」より急行で約30分
●宝塚市売布2-5-1・ピピアめふ
旧国道176号線沿い、
駐車場は3・4Fに約100台

宝塚市売布2-5-1・ピピアめふ
旧国道176号線沿い、
駐車場は3・4Fに約100台

宝塚市売布2-5-1・ピピアめふ
旧国道176号線沿い、
駐車場は3・4Fに約100台

宝塚市売布2-5-1・ピピアめふ
旧国道176号線沿い、
駐車場は3・4Fに約100台

宝塚市売布2-5-1・ピピアめふ
旧国道176号線沿い、
駐車場は3・4Fに約100台

宝塚市売布2-5-1・ピピアめふ
旧国道176号線沿い、
駐車場は3・4Fに約100台

宝塚市売布2-5-1・ピピアめふ
旧国道176号線沿い、
駐車場は3・4Fに約100台

宝塚市売布2-5-1・ピピアめふ
旧国道176号線沿い、
駐車場は3・4Fに約100台

宝塚市売布2-5-1・ピピアめふ
旧国道176号線沿い、
駐車場は3・4Fに約100台

宝塚市売布2-5-1・ピピアめふ
旧国道176号線沿い、
駐車場は3・4Fに約100台

宝塚市売布2-5-1・ピピアめふ
旧国道176号線沿い、
駐車場は3・4Fに約100台

宝塚市売布2-5-1・ピピアめふ
旧国道176号線沿い、
駐車場は3・4Fに約100台

宝塚市売布2-5-1・ピピアめふ
旧国道176号線沿い、
駐車場は3・4Fに約100台

＜宝塚映画名作選＞

宝塚映画製作所で作られた名作の数々
6作品一挙上映!

＜戦後80年記念特集＞

名作アニメ「火垂るの墓」
園井恵子さん没後80年「無法松の一生」を上映

＜文芸映画特集＞

三島由紀夫生誕100年「潮騒」
野上彌生子生誕140年「利休」を上映

＜特別招待作品上映＞

白羽弥仁監督作品「道草キッチン」プレミア上映

＜映画館にまつわる特集〜エール・シネ・ピピア＞

「映画を愛する君へ」「ディス・マジック・モーメント」上映

＜小田香監督特集＞

大島渚賞受賞 小田香監督上映とトーク

会場/宝塚シネ・ピピア(阪急宝塚線「売布神社」駅前/ピピアめふ5F)

会期/2025年11月21日(金)~11月27日(木)(1週間)

主催/宝塚映画祭実行委員会 共催/宝塚市 公益財団法人宝塚市文化財団 後援/株式会社エフエム宝塚 協賛/国際ライフパートナー株式会社 協力/東宝 松竹 日活 KADOKAWA 新潮社 キョウタス アンブラグド cinema drifters スリーピン ユーロスペース すみれ座 シネ・ピピア

cinepipia

life partner

FM宝塚

宝塚市文化財団

宝塚映画名作選

© TOHO CO., LTD.

宝塚映画製作所で作られた名作の数々、
6作品を一挙上映!!



お姐ちゃんに任しとキ!

1960年/宝塚映画/90分/カラー/35mm 監督: 眞正典/脚本: 笠原良三/撮影: 宮崎孝一/美術: 眞上兵衛/音楽: 津路嘉郎
出演: 関谷子、中島あけみ、轟山根子、高島忠夫、佐藤允、佐野健二、神戸一子、江原啓之

◆1959年より始まった関谷子主演の「お姐ちゃんシリーズ」、関谷子から現代子三人娘の歯切れのいい青春模様をコミカルなタッチで描いた人気シリーズで、全8作のうち第5作目を宝塚で製作。女子自動車レースに向けて、東京から大阪へ向かう三人のお茶目な珍道中を描く。大阪ではお姐ちゃん「トンボリ」のチャネル・トリオ(?)も登場して…。



小早川家の秋

1961年/宝塚映画/103分/カラー/DCP 監督: 関谷子/脚本: 野田高梧/撮影: 中村朝一/美術: 下河原重雄/音楽: 船橋和郎 出演: 中村朝太郎、原節子、新珠三千代、小林桂樹、轟原久美、宝田明、加東大介、浪花千栄子、関谷子、白川由美、山田花子、藤本佳子、笠原良三、杉村春子

◆時代の波に揺れる伏見の造り酒屋、小早川家の道楽者の隠居(二世中村朝太郎)と、跡を継ぐ子供たちの顛末を描いて、独特の余韻を漂わせる名作。未婚・司馬の恋人役を宝田明が演じた。松竹を拠点にした名匠・小津安二郎が東宝で監督した唯一の作品で、阪急十三駅のプラットフォームなど関西各地でロケが行われた。宝塚映画製作所創立10周年記念作品。



ある大阪の女

1962年/宝塚映画/89分/カラー/35mm 監督: 関谷子/脚本: 関谷子/撮影: 関谷子/美術: 関谷子/音楽: 関谷子
出演: 関谷子、関谷子、関谷子、関谷子、関谷子、関谷子、関谷子、関谷子

◆貧困と家庭崩壊に苦しみつつ、逆境に立ち向かう女性を軸に社会派ドラマ、関谷子の熱演が、愛と苦悩に翻弄されながらも希望を求める彼女の内面を鮮烈に刻む。溝口健二監督「浪華悲歌」を下敷きに、須川栄三監督のリアリズム溢れる演出が、戦後女性の哀しみと内なる強さを際立たせている。タカラジェンヌの躍る、初見録がスクリーンに華を添える。



暁の合唱

1963年/宝塚映画/92分/カラー/35mm 監督: 関谷子/脚本: 関谷子/撮影: 関谷子/美術: 関谷子/音楽: 関谷子
出演: 関谷子、関谷子、関谷子、関谷子、関谷子、関谷子、関谷子、関谷子

◆戦前、名匠清水宏が撮った石坂洋次郎原作の名篇を、鈴木英夫が宝塚でリメイク。舞台を倉敷に置き換え、新米バスガール(星由美子)の活躍を描いた人情篇。同僚のバス運転手に宝田明、バス会社の社長が山根寿、その事務員に新珠三千代と豪華共演陣も見物。バスの中での出産、映画がフィルムの時代に次の映画館へのフィルムの運搬など、古き良き時代の名篇。



士魂魔道 大龍巻

1964年/宝塚映画/106分/カラー/35mm 監督: 関谷子/脚本: 関谷子/撮影: 関谷子/美術: 関谷子/音楽: 関谷子
出演: 関谷子、関谷子、関谷子、関谷子、関谷子、関谷子、関谷子、関谷子

◆大坂夏の陣、落城寸前の大坂城内で切腹しようとした深見重兵衛は、豊臣秀頼の子・国松を抱いて落ち延びようとする小室(星由美子)を偶然助けたことで、運命を共にすることとなる。危いところを救ってくれた虚無僧(三宅邦子)は「時代の大量殺害にまきこまれて自分を見失うな」と告げて去る。重兵衛と小室は豊臣方の残党が企てる陰謀に巻き込まれ、数奇な運命をたどる。当時東宝に在籍した市川染五郎(現・松本白鸚)が主演。



大菩薩峠

1966年/宝塚映画・東宝/120分/白黒/35mm 監督: 関谷子/脚本: 関谷子/撮影: 関谷子/美術: 関谷子/音楽: 関谷子
出演: 関谷子、関谷子、関谷子、関谷子、関谷子、関谷子、関谷子、関谷子

◆机竜之助は大菩薩峠で老運札を新し、老人の孫娘お松は運りがかった盗賊に助けられる。宇津木文之丞の妻お雲の訪問を受けた竜之助は、お雲の嫁を奪い、文之丞を殺害して、江戸へ出奔。2年後、竜之助が他盗賊合を申し込んだ宇津木兵馬は文之丞の弟だった。お松と共に竜之助を討つため旅を離れていたのだった。あの時の運札の娘がお松と知った竜之助は…、神代達夫が虚無僧的な人間像を演じる。

戦後80年記念特集



無法松の一生

1943年/大映/80分/白黒/DCP(4Kデジタル修復版) 監督: 関谷子/脚本: 関谷子/撮影: 関谷子/美術: 関谷子/音楽: 関谷子
出演: 関谷子、関谷子、関谷子、関谷子、関谷子、関谷子、関谷子、関谷子

◆名カメラン・宮川一夫が多重露光を駆使し、幻想的かつ情懷豊かな映像美を創出した。戦前日本映画の傑作。豪放磊落な人力車夫・松五郎が、軍人亡き人との子に寄せる屈かめ情愛を描く。坂東三郎は豪傑と緋緋と兼備した演技で人物に厚みを与え、宝塚出身の関谷子もは気品ある佇まいで物語に奥行きを添える。松五郎が生涯を通して貫いた生き方は情熱ある者の胸を強く打つ。

(併映)短編ドキュメント『ウィール・オブ・フーエー映画「無法松の一生」をめぐれる数奇な運命へ』

2020年/アメリカ・日本合作/20分 監督: 山崎工美/ナレーション: リリー・フランクシー/出演: 宮崎正弘、白井佳夫

◆映画史に残る名作「無法松の一生」の数奇な運命と復讐について描いた短編。

★トーク「名作『無法松の一生』の数奇な運命を語る」11/22(土)14:40「無法松の一生」上映後 ゲスト: 宮崎正弘さん(撮影監督、「無法松の一生」4Kデジタル修復版監修)



火垂るの墓

1988年/スタジオジブリ/88分/カラー/デジタル 監督: 高畑勲/脚本: 野坂昭如/キャラクターデザイン: 作楽信子/近藤喜文/美術監督: 小山俊夫/美術監督: 山本二三/音楽: 間宮芳生
声の出演: 飯田蝶子、白石綾乃、志乃原良子、山口朱美、朝田聖子、酒井雅代

◆昭和20年夏。父は出征中で、母と暮らす14歳の清太と4歳の節子。空襲で家を焼かれ、母も亡くしてしまふ。2人は遠縁の親戚に身を寄せるが、邪魔者扱いされるのに耐えきれず家を出る。兄妹は防空壕に住み着いて、貧しくも楽しい生活が始まるが…。当時の阪神間の風景を再現し、野坂昭如の原作をほぼ忠実に描いたアニメは国内外で高い評価を得た。

★トーク「野坂昭如と『火垂るの墓』」11/23(日)12:05「火垂るの墓」上映後 ゲスト: 河内厚郎さん(宝塚映画実行委員長、文芸評論家)

© 野坂昭如/新東宝、1988

文芸映画特集

生誕100年を迎えた三島由紀夫原作の名作『潮騒』と、かつて宝塚にお住まいの画家で2011年に88歳で亡くなった元永定正さんが特別出演されている『利休』(野上彌生子原作)の2本の文芸映画を上映。

潮騒

1964年/日活/81分/カラー/デジタル 監督: 森永健次郎/原作: 三島由紀夫/脚本: 柳田泉、清原勝人/撮影: 松橋秀夫/美術: 西沢一郎/音楽: 中林洋典
出演: 吉永小百合、河津清三郎、山根寿子、関谷子、関谷子、関谷子、関谷子、関谷子

◆5度目製作された三島由紀夫の代表作の2度目の映画化。当時、純愛と青春映画路線で大人気の吉永小百合と浜田芳夫コンビの大ヒット作。伊勢湾に浮かぶ小島を舞台に、荒々しい大自然の中で繰り広げられる若者の情愛を描いた青春ロマン。19歳の吉永の健康的で爽やか、青春まっただなかの魅力がぎゅっと濃縮。ギターを効果的に使った音楽も魅力的な名編。

利休

1989年/松竹/135分/35mm 監督: 関谷子/脚本: 関谷子/撮影: 関谷子/美術: 関谷子/音楽: 関谷子
出演: 関谷子、関谷子、関谷子、関谷子、関谷子、関谷子、関谷子、関谷子

◆戦国時代、時の権力者が移り変わる中、ひたすら茶道を追求した千利休。野上彌生子原作をもとに、自身の生き方をかたくなまでに貫いた茶人、利休(三宅)と、絶大な権力の持ち主ながら軽薄で軽佻な秀吉(山崎)の確執を描く。草月流家元・勲使河原監督自らの生花、茶器も本物を揃え、衣装デザインはワダエミ、豪華出演陣の本格時代劇。監督に請われ元永定正さんが長谷川等伯役で出演。

特別招待作品上映

監督・白羽弥仁、主演・中江有里の話題作をいち早くプレミア上映!!

道草キッチン

© 2025映画「道草キッチン」製作委員会

2025年/キョウタス/96分/カラー/DCP 監督: 白羽弥仁/脚本: 白羽弥仁/撮影: 白羽弥仁/美術: 白羽弥仁/音楽: 白羽弥仁
出演: 中江有里、金井浩子、村上穂志、フム、ティ、フォン、タオ、荒木知雄、足田文、足田文、足田文、足田文

◆「劇場版 神在在」/「みとりし」/「あやのきやうしよ」など宝塚映画祭で初演の白羽弥仁監督最新作。残りの人生を過ごそうと都会から徳島県に移住してきた女性、徳島の地で、様々な事情を抱えた地元の人々や、懸命に日本で生きるベトナム人たちなどに出会い、徳島の大地とベトナム料理が繋ぐ新たな再生の物語。中江有里が26年ぶりに主演を務めた感動作。

★11/24(月) 13:40「道草キッチン」プレミア上映前、白羽弥仁監督舞台あいさつ

宝塚映画祭2025 スペシャル企画

<映画館にまつわる特集~エール・ザ・シネ・ピピア>

ミニシアターの苦境が伝えられる中、映画でシネ・ピピアを応援する!!

映画を愛する君へ

© 2024 CG Cinema / Scala Films / Arte France Cinema / Hill Valle
監督: アルノー・デプレション/脚本: フアン・ペルディ/音楽: グレゴワール・エツェル/撮影: ノエ・バック
出演: マチュ・アマリック、フランソワーズ・ルブラン、ミシャ・レスコー

◆フランスの名匠アルノー・デプレション監督が自身の映画人生を投影しながら、映画の魅力を観客の視点から語り尽くした自伝的シネマエッセイ。19世紀末に映画が誕生してから現在までドラマとドキュメンタリーで映し出す。「映画とは現実を輝かせること」と語るデプレションの映画と映画館への情熱と愛に満ちた名編。シネ・ピピアの姉妹館「シネ・ヌーヴォ」も登場!

ディス・マジック・モーメント

★11/27(木)14:10「ディス・マジック・モーメント」上映後、リム・カーワイ監督トークショー

2023年/cinema drifters/90分/カラー/DCP 監督: プロデューサー・脚本・編集・ナレーション: リム・カーワイ/撮影: 大塚竜男/録音: サウンドデザイン: 山下彰/音楽: 石川真

◆大阪を拠点に映画を制作し続けるマレーシア出身のリム・カーワイ監督。日本のミニシアターの危機を知って、居ても立っても居られなくなって自らインタビューとなって、全国各地のミニシアターを駆け巡る。その数、南は九州・沖縄から雪に覆われた北海道の「大黒屋」まで、最後は大阪のシネ・ヌーヴォと、全22館!! ミニシアターへの愛がいっぱいのリム監督の好編!!

<映画ニューウェーブ 小田香監督特集>

第1回大黒渚賞に輝き、いま最も新しい小田香監督の意欲作2本を爆音上映!! ◎この2作品は音量をあげての「音量アップ上映」となります。

鉦 ARAGANE

★11/27(木)16:30「鉦 ARAGANE」上映後、小田香監督トークショー

2015年/ボスニア・ヘルツェゴビナ・日本合作/68分/カラー/DCP 監督: 小田香/編集: 小田香/撮影: タル・ペラー

◆ボスニア・ヘルツェゴビナ首都サラエボ近郊にある操業100年の歴史を持つプレザ放炭。その地下300メートルの世界で、爆音を響かせ石炭を焚々と掘り進める炭鉱夫たち。サラエボにある映画作家タル・ペラーの映画学校の卒業製作として小田香が単身で描く長編デビュー作。世界にその名を知らしめた小田香の光と闇そしてノイズにあふれた驚愕のドキュメンタリー!

Underground アンダーグラウンド

クロージング上映

2024年/トリクス/83分/カラー/DCP 監督: 小田香/テクニカルディレクション: 録音: グレーディング: 長崎真人/撮影: 高野貴子 出演: 吉岡菜央、松永光雄、松尾英樹

◆「鉦 ARAGANE」ではサラエボ近郊の地下の炭鉱、「セノーチ」ではメキシコ・ユカタン半島の洞窟内との、真の地下世界を題材に制作してきた小田香が、三たび地下世界にカメラを向けた問題作。前作で第1回大黒渚賞に輝いた小田香監督が、3年をかけて日本各地をリサーチし、その土地に宿る歴史と記憶を辿り、土地の人々の声に耳を傾け、新たな傑作!

© 2024 trixa